

感染対策室

業務内容

病院を出入りするすべての人々が、感染予防対策行動ができるよう、システムを構築する。病院内外の感染対策に関するリスクアセスメントを実施し、そこから分析された問題点を把握し、改善策を講じる。感染症発生を未然に防ぎ、また感染症が発生した際には、拡大防止務める。感染対策室とは院内外の多くの部署と協働して活動する事が多く、また保健所などの行政と関わりのある部署となっている。

主な業務内容は下記の通り。

- (1) 感染予防対策マニュアルの改訂
- (2) ワクチン接種プログラムの立案と実施
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策
- (4) 感染症法に基づいた感染予防対策の実施
- (5) 職員における業務上の曝露予防と曝露時の対応

1. 結核発生届件数：20 件
2. その他届出疾患：レジオネラ症 4 件、侵襲性肺炎
球菌感染症 2 件、梅毒 2 件、カルバペネム耐性腸
内細菌科細菌感染症 1 件、後天性免疫不全症候群
1 件、百日咳 1 件、劇症型溶血性レンサ球菌感染
症 1 件

業務実績

なし

その他の活動

1. COVID-19 治療戦略レポート COVID-19 院内
感染対策の実際 ギリアド・サイエンシズ株式会
社 集中治療部部長 小山洋史 感染対策室
渡部伸予
2. 院内教育・研修プログラムの担当、指導
3. 感染予防対策・演習 4 月入職者の看護師 2021
年度新入職員の入職時研修
4. 新型コロナウイルス対応の職員への PPE 訓練
約 200 人

展望/抱負

地域の感染流行状況を把握し、感染予防対策に努める。
未知の感染症に対する対応ができるよう常に備える。